

最近の話題

マイナンバー

「二人一人に12桁の番号」

日本に住む赤ちゃんからお年寄りまで一人一人に異なった12桁の個人番号を割り振りする「マイナンバー制度」がスタートしました。

既に個人番号の通知があったと思います。番号は、原則として一生変わりません。とても大切なものなので、むやみに番号を人に教えないように注意しましょう。

今年の1月からは、申請すれば顔写真付きの個人番号カードが持て、本人かどうか確かめる身分証明書に使えます。

最初は社会保障、税金、災害の3分野に利用範囲が限られています。マイナンバーを記入することにより、年金や児童手当などを受け取る手続きで必要な

書類が減ります。

税金を納める手続きも書類が少なくなり、災害時に被災者に支援金を支給する際、個人情報報告が一つの番号に結びつき、違う役所の情報もコンピューターで取り出すことができ、作業も早くなります。

先進国の多くは、マイナンバーのような個人番号制度を取り入れています。1936年に制度が始まったアメリカでは、番号や個人情報漏れたり、本人になりすまして偽のクレジットカードが作られて買い物をされたりする被害が増えています。日本は情報を漏らすと厳しく罰する制度になっています。



自動運転

夢のようなことが

現実に!

本来、車は運転手自らが運転・操縦し、目的の場所へ移動するために使用されています。

ところが、運転手が乗車していなくても、無人で公道を自動車が自動で走行できる、本当に夢のようなことが、近い将来実現する可能性があります。

ハンドルやアクセル操作なくとも走行できる自動運転による無人タクシーの実験を周防大島町で取り組めるよう山口県は必要な規制緩和を行う特区の指定を国に要請しています。

この周防大島町で規制を緩和し走行実験が行われ、実用化に取り組み、自動車の自動運転が可能になれば、

タクシーによる高齢者の輸送サービスや生活物資の配送事業の実用化が期待されています。



編集後記

今年の7月には、選挙権の年齢が現在の「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられて、初めての参議院議員選挙が予定されています。これを契機に、若者の意見を政治に少しでも反映しなければなりません。周防大島町では、11月13日に任期満了を迎え、町長選挙及び町議会議員選挙が予定されます。

議会におきましても、更に議会の活性化を図るため、議員定数問題や議会基本条例の制定などについて協議を続けています。

昨年から国が進めています「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」に取り組み、議員一同、町の発展へ繋げて参ります。

(吉田芳春)

議会広報編集特別委員会

委員長	吉田 芳春
副委員長	濱本 康裕
委員	平川 敏郎
	田中 隆太郎
	今元 直寛
	松井 岑雄
	尾元 武